

平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

特別支援学校 中学部・高等部 美術

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

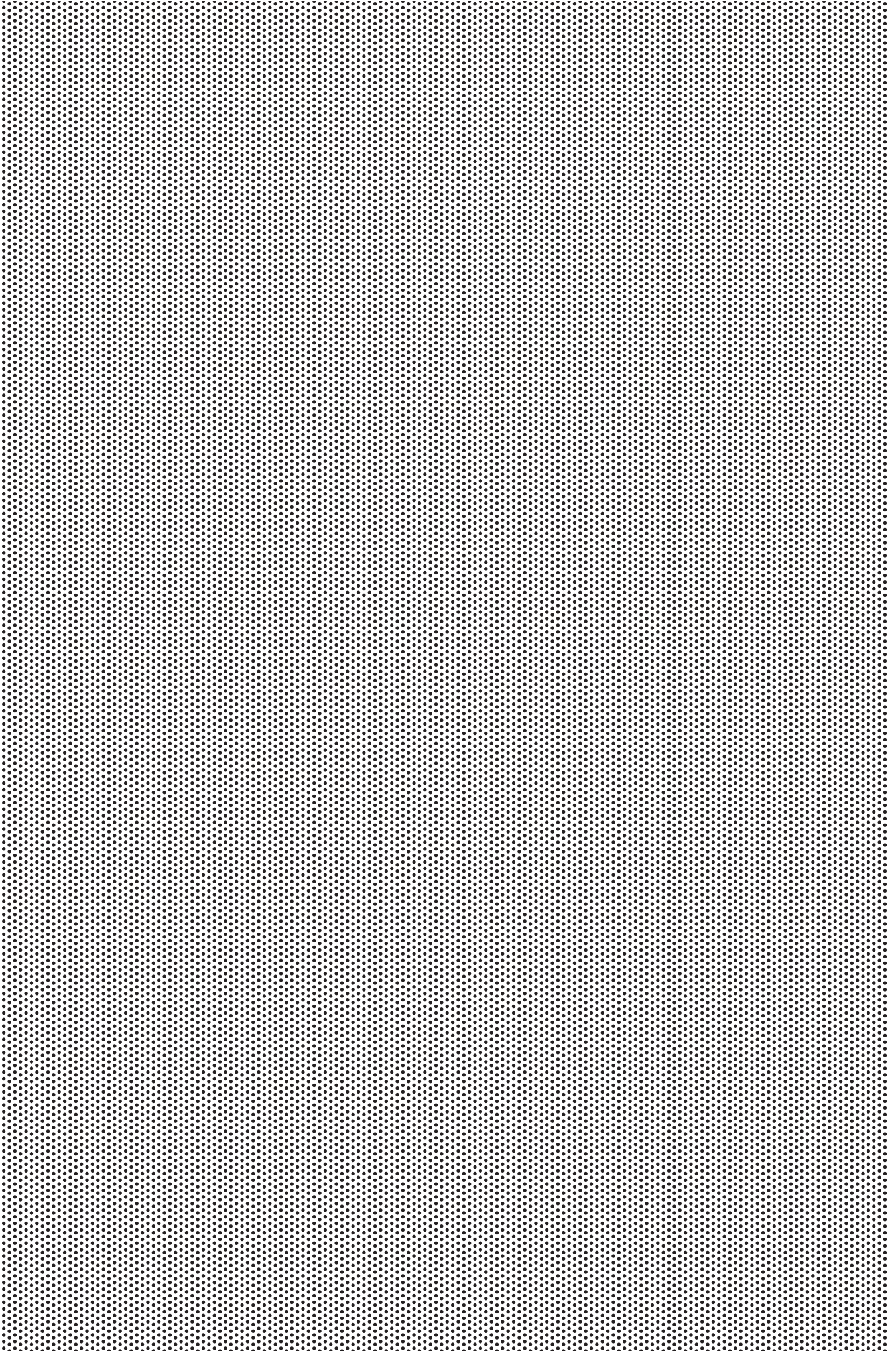
受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●	○1	○1	○1	○1
○2	●	○2	○2	○2
○3	○3	●	○3	○3
○4	○4	○4	○4	○4
○5	○5	○5	○5	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、人体彫刻について述べたものである。(①) ～ (④) に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

粘土で人物をつくるには、先ずはモデルをスケッチして構想を練る。次につくりたい形に合わせて木や針金で心棒をつくり、(①) や麻ひもを巻きつける。形ができたら粘土を(②) する。次に心棒にからませるようにしっかり粘土をつける。そして、へらや身近にあるものを使って細部をつくる。最後に全体のバランスを整えて完成させる。

ジョージ・シーガルはモデルを(③) で(④) し、信号機など街にある様々な物体と組み合わせて作品化している。それまでは彫刻として理解されなかった技法を使い、日常生活の一瞬を切り取り、現代社会そのものを表現することに挑戦した。

(①) ア

- a 両面テープ b 綿 c ビニルテープ d しゅろ縄

(②) イ

- a あらづけ b どべづけ c ひもづくり d 水引

(③) ウ

- a 樹脂 b 粘土 c 石膏 d 乾漆

(④) エ

- a 型どり b 流し込み c 肉付け d モデリング

2 次の文は、木彫の制作過程について述べたものである。(①)・(②)に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1) 木材をブロック状に切り揃え、(①)を各面に描く。

(2) のこぎりで大まかに形を切り出す。

(3) (②)で粗彫りする。

(4) 角度を変えながら、全体を見て彫り進める。

(5) 小刀等を使って細部を彫り進める。

(①)

オ

a 設計図 b 空想画 c 細密画 d デッサン

(②)

カ

a ニードル b のみ c 彫刻刀 d かんな

3 次の文は、工芸の装飾技法について述べたものである。(①) ～ (④) に該当する語句を、それぞれ下の a ～ d から一つずつ選びなさい。

(①) とは、夜光貝やアワビなどの貝殻を薄く加工し、木地や (②) の面に埋め込んだり、貼り付けたりして装飾したものである。(①) に使う貝は厚さによって薄貝と厚貝に分けられ、煮て薄く剥がしたり、砥石で平らにしたりして使う。

(③) は、地の素材を彫って、その部分に他の材料をはめ込んで模様を表す技法である。主に (④) で用いるが、木・陶磁・蒔絵などでも用いる。

(①)

- a 螺鈿 b 象嵌 c 彫文 d 泥彩

(②)

- a 土肌 b 石 c 金属 d 漆地

(③)

- a 螺鈿 b 象嵌 c 彫文 d 泥彩

(④)

- a 鍛金 b 鋳金 c 彫金 d 切金

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 色立体について述べたものとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 色相環は、色相どうしの関係を考える時に役立ち、色立体は、色相ごとの明度や彩度を考える時に役立つ。
- b 色相、明度、彩度という色の三要素（三属性）を、三次元の空間に立体化したものを色立体という。
- c マンセル表色系の色立体では、本来はすべての色がつながった立体になるはずのものであるが、パネルで色相の断面として示している。
- d 色立体は、色相を輪、彩度を縦軸、明度を中心からの段階とした立体図である。あらゆる色は、この立体の空間の中に位置づけられる。

(2) 色の三要素（三属性）について述べたものとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a すべての色は、赤や黄、緑のような色み、明るさ、鮮やかさの三つの性質によってとらえることができる。
- b 白から灰色、黒にいたるグレースケールは明度のみで表示され、色相を含まない彩度ゼロの色であり、これを無彩色という。
- c 同じ色相の中でも最も彩度の高い色を有彩色と言う。有彩色に白や黒を混ぜると、同一色相でもさまざまな色を作ることができる。
- d 色の体系は色相、明度、彩度という三つの要素によって分類、組み立てられている。

(3) 配色の特徴について、説明が正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 同一色相による配色 － 融合的でまとまりやすいが、単調になりやすいので、明度、彩度の変化を考える。
- b 類似色相による配色 － 色相環の上で、間隔（色相差）が大きい色どうしの配色。相互に引き立てて強く刺激的な感じになる。
- c 補色色相による配色 － 色相環の上で、近い位置関係にある色の配色。似ている色による組み合わせ。一般に、穏やかで落ち着いた感じになる。
- d 対照色相による配色 － 色相環の上で真向かいに位置する、最も対照的な色どうしの組み合わせ。互いの色を引き立たせまとまりのある感じになる。

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、透視図法について述べたものである。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

工

線遠近法による透視図法とは、(①)線と(②)点を決めて描くことで遠近感を表す方法である。

- a ① 平行 ② 中心
- b ① 平行 ② 消失
- c ① 水平 ② 中心
- d ① 水平 ② 消失

- (2) 次の文は、遠近法について述べたものである。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 オ

絵画において奥行きや遠近感をどのように表すかは、昔から大きな課題であった。画家たちは、奥行きの表現をするために構図や(①)の効果などを生かして独自の工夫をした。

遠近法を用いると、(②)や近くのものや遠くのものとの間にある空間を表すことができる。

- a ① 素材 ② 距離感
- b ① 配色 ② 質感
- c ① 配色 ② 距離感
- d ① 素材 ② 質感

(3) 次の作品①～④と用いている図法の組み合わせとして最も適切なものを，下の a ～ d から一つ選びなさい。

カ

①

②

③

④

- | | | | |
|---|----------------------|----------|----------|
| a | ① 三点透視図法
④ 二点透視図法 | ② 一点透視図法 | ③ 空気遠近法 |
| b | ① 二点透視図法
④ 三点透視図法 | ② 一点透視図法 | ③ 空気遠近法 |
| c | ① 三点透視図法
④ 二点透視図法 | ② 空気遠近法 | ③ 一点透視図法 |
| d | ① 二点透視図法
④ 一点透視図法 | ② 三点透視図法 | ③ 空気遠近法 |

3 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、水彩絵の具についての説明である。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

キ

水彩絵の具は顔料をアラビアゴムで練り、筆運びを滑らかにするためにグリセリン（湿油剤）を加えて作る。アラビアゴムはアカシア科のアラビアゴムの木から採取した樹脂で、接着剤として優れた性質を持っている。

水彩絵の具には (①) と (②) とがある。(①) はアラビアゴムを多めに加え、薄めてもよく延び、紙の白さや下地の色を生かせるように調合してある。(②) はアラビアゴムの量を少なくして顔料密度を高め、隠蔽力（下地の色を隠す力）を高めた絵の具である。

- | | | |
|---|------------|------------|
| a | ① 透明水彩 | ② アクリルガッシュ |
| b | ① 透明水彩 | ② 不透明水彩 |
| c | ① アクリルガッシュ | ② 不透明水彩 |
| d | ① 不透明水彩 | ② 透明水彩 |

- (2) モダンテクニックの技法名と表現との組み合わせとして誤っているものを，次の
a～dから一つ選びなさい。

ク

a ストリング

b コラージュ

c スパッタリング

d デカルコマニー

第3問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の作品(1)～(4)の作者名と制作年代の古いものから順に正しく並んでいるものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

作者名

(1)

- | | |
|------------------|---------------|
| a ピーテル・パウル・ルーベンス | b エル・グレコ |
| c ジャック＝レイ・ダヴィッド | d ウジェーヌ・ドラクロワ |

(2)

- | | |
|------------------|-----------|
| a ヴァシリー・カンディンスキー | b パウル・クレー |
| c アンリ・マティス | d ジョアン・ミロ |

(3)

- | | |
|------------------|---------------|
| a ラファエロ・サンティ | b ヨハネス・フェルメール |
| c ジャン＝シメオン・シャルダン | d ベルト・モリゾ |

(4)

エ

- a サンドロ・ボッティチェリ
c アントワーヌ・ヴァトー

- b ティツィアーノ・ヴェチェルリオ
d オーギュスト・ルノワール

制作年代順

オ

- a (1) - (4) - (2) - (3)
b (3) - (4) - (2) - (1)
c (4) - (1) - (3) - (2)
d (4) - (3) - (1) - (2)

2 次の作品について (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

(1) 作者名を下の a ～ d から一つ選びなさい。 カ

- a ポール・シニャック b クロード・モネ
c ジョルジュ・スーラ d アンリ・ルソー

(2) 作者の出身国，作品の題名の正しい組み合わせを，次の a ～ d から一つ選びなさい。 キ

- | 〔出身国〕 | 〔作品の題名〕 |
|-----------|-------------------|
| a イタリア | 草上の昼食 |
| b フランス | グランド・ジャット島の日曜日の午後 |
| c イギリス | 草上の昼食 |
| d アメリカ合衆国 | グランド・ジャット島の日曜日の午後 |

(3) 作者が行っていた，次に示す芸術運動の名称を，下の a ～ d から一つ選びなさい。

ク

色彩理論を科学的，理論的に追究し，点描法による色彩効果を用いて画面に光輝を与えようとする運動

- a 印象主義 b 新印象主義 c キュビズム d 表現主義

3 次の作品 (1) ～ (6) の作者名を, それぞれ下の a ～ d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(1)

ケ

- | | |
|-------------------|-------------------|
| a ミケランジェロ・ブオナローティ | b ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ |
| c オーギュスト・ロダン | d マリノ・マリーニ |

(2)

コ

- | | |
|--------------|------------|
| a フェルナンド・ボテロ | b ヘンリー・ムーア |
| c 安田侃 | d ジャン・アルプ |

(3)

サ

- | | |
|--------|---------|
| a 朝倉文夫 | b 佐藤忠良 |
| c 萩原守衛 | d 高村光太郎 |

(4)

シ

- | | |
|------------|---------------|
| a イサム・ノグチ | b クレス・オルデンバーグ |
| c ヴイト・アコンチ | d ドナルド・ジャッド |

(5)

ス

- | | |
|--------------|---------------|
| a 新宮晋 | b バーバラ・ハップワース |
| c ルイーズ・ブルジョワ | d アニッシュ・カプーア |

(6)

セ

- | | |
|-----------------|-------------|
| a 淀川テクニック | b リチャード・ロング |
| c アンディ・ゴールズワージー | d ヘザー・ヤンシュ |

4 次の作品 (1) ～ (4) の作者名を, それぞれ下の a ～ d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(1)

a 川瀬巴水 b 浜口陽三 c 池田満寿夫 d 原健

(2)

a 棟方志功 b 斎藤清 c 藤森静雄 d 名嘉睦稔

(3)

a 三木淳史 b 山本容子 c 奈良美智 d ひびのこづえ

(4)

a ケーテ・コルヴィッツ b ベン・シャーン c 日和崎尊夫
d 清宮質文

第4問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」である。（①）・（②）に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、（①）創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、（②）たりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

（①） ア

- a 表現方法を創意工夫し、
- b 表現方法を工夫し、個性を生かして
- c 表し方などを工夫して、
- d 材料や用具を使い、

（②） イ

- a 美術の基礎的な能力を伸ばし
- b 作品などに対する自分の見方や感じ方を深め
- c 美術文化についての理解を深め
- d 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め

2 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕1 目標」の一部である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。 ウ

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて（ ）表すことができるようにする。

- a 創造的に
- b 表現方法を工夫して
- c 自分の表現方法を追求し，創造的に
- d 表現方法を追求して

3 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕1 目標」の一部である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。 エ

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を（ ），心豊かな生活を創造していく態度を養う。

- a 育て
- b 培い
- c 養い
- d 深め

第5問

- 1 次の文は、平成30年2月2日 心のバリアフリー学習推進会議より報告された「学校における交流及び共同学習の推進について～「心のバリアフリー」の実現に向けて～」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a ～ d から一つ選びなさい。

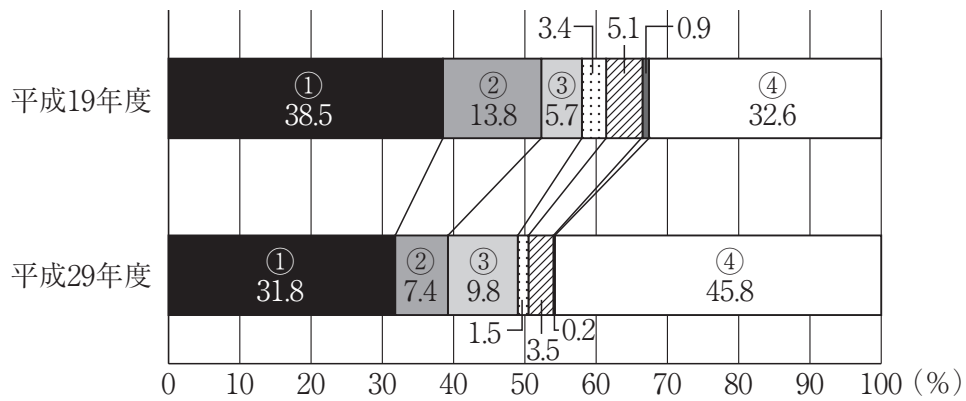
(1) 交流及び共同学習に関する基本的な考え方

- 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校（以下「小・中学校等」という。）並びに特別支援学校が行う、障害のある児童生徒等と障害のない児童生徒等の交流及び共同学習は、障害のある児童生徒等にとっても、障害のない児童生徒等にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有する。
- このような交流及び共同学習は、学校卒業後においても、障害のある児童生徒等にとっては、様々な人々と共に助け合い支え合って生きていく力となり、積極的な につながるとともに、障害のない児童生徒等にとっては、障害のある人に自然に言葉をかけて手助けをしたり、障害のある人に対する支援を行う場に積極的に参加したりする行動や、人々の を理解し、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながり、さらに、児童生徒等の成長を通じてその の意識の向上も促すなど、社会における「心のバリアフリー」の実現に資するものである。

ア	a 理解	b 尊重	c 尊敬	d 注目
イ	a コミュニケーション	b 就労	c 社会参加	
	d 生活態度			
ウ	a 多様な在り方	b 障害特性	c 長所短所	
	d 基本的人権			
エ	a 支援者	b 保護者	c 教職員	
	d 関係者			

2 次のグラフは「平成29年度 高知県の特別支援教育資料」の「5 年度別特別支援学級数」をもとに、平成19年度と平成29年度の障害種別の設置状況割合を示したものである。①～④に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

オ



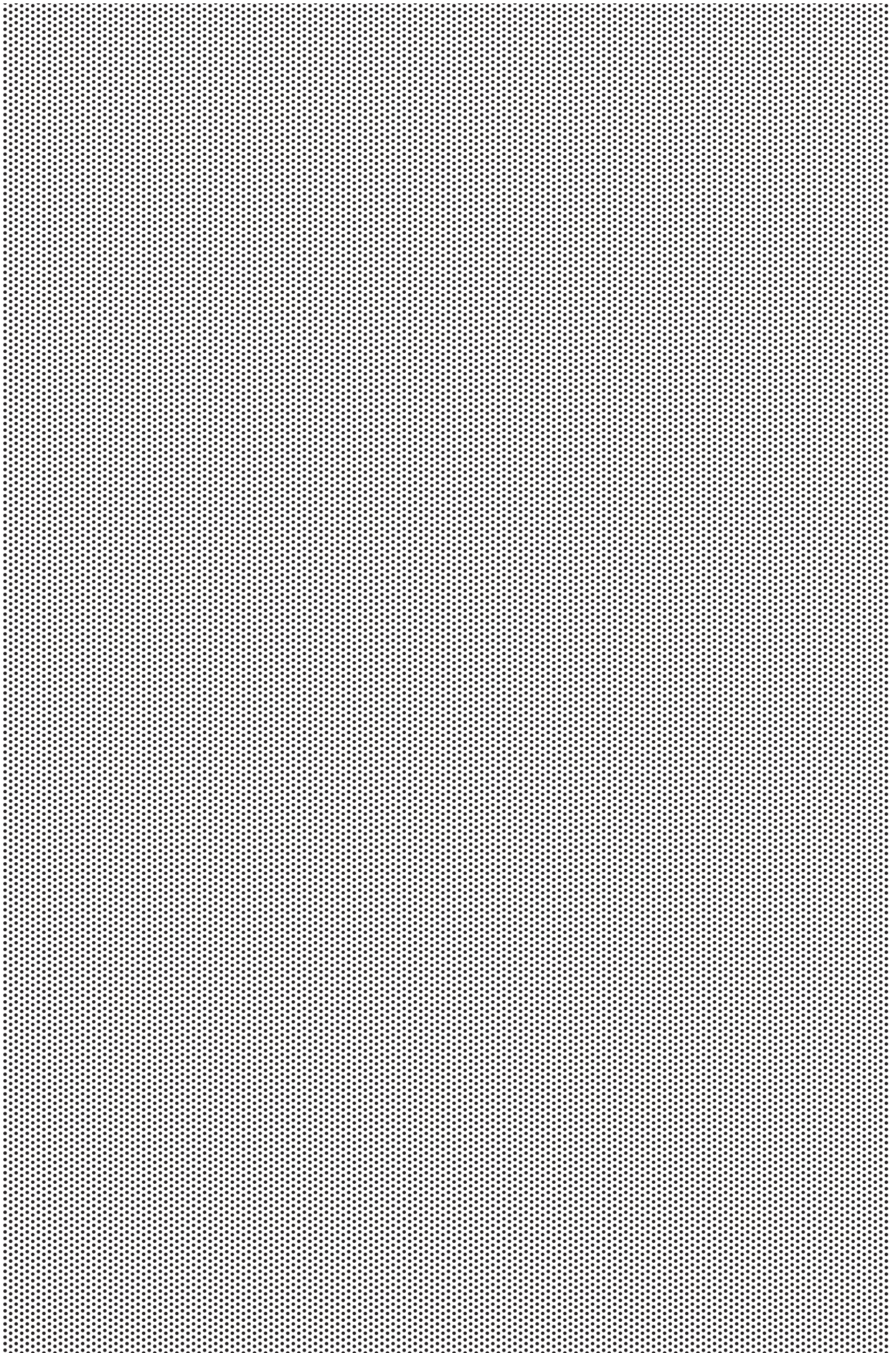
- a ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害
- b ① 知的障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 自閉症・情緒障害
- c ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 聴覚障害
- d ① 聴覚障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害

- 3 次の文は、文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」の「Ⅲ 留意事項 第1 高等学校における通級による指導の制度化関係 2 実施形態について」の一部である。文中の（ ア ）～（ ウ ）に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

力

通級による指導の実態形態としては、①生徒が在学する学校において指導を受ける「（ ア ）」、②他の学校に週に何単位時間か定期的に通級し、指導を受ける「（ イ ）」、③通級による指導の担当教員が該当する生徒がいる学校に赴き、又は複数の学校を巡回して指導を行う「（ ウ ）」が考えられる。実施に当たっては、対象になる生徒の人数と指導の教育的効果との関係性、生徒や保護者にとっての心理的な抵抗感・通学の負担・学校との相談の利便性、通級による指導の担当教員と通常の授業の担任教員との連絡調整の利便性等を総合的に勘案し、各学校や地域の実態を踏まえて効果的な形態を選択すること。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|------|---|------|
| a | ア | 自校学習 | イ | 他校学習 | ウ | 巡回相談 |
| b | ア | 自校通級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回指導 |
| c | ア | 個別学習 | イ | 定期通級 | ウ | 巡回学習 |
| d | ア | 特別支援学級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回相談 |



- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のように **アの解答欄の b** をマークしてください。

（例）

ア	a	☒	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

[illegible]